

# 新規需要米向け多収性水稻品種に対する4-HPPD阻害型除草剤による薬害について

近年、全国的に作付面積が急速に拡大している新規需要米向けの多収性水稻品種を栽培する一部の現地水田において、除草剤に起因する甚大な薬害の発生事例が報告された。(独)農業・食品産業技術総合研究機構が詳細を調査した結果、一部の多収性品種で、4-HPPD阻害型除草剤に強い感受性を示し、通常の除草剤使用でも枯死に至る場合があることが報告されている(渡邊ら、2010)。

したがって、次に示す水稻品種に対して、4-HPPD阻害型除草剤を有効成分として含む除草剤を使用しないよう徹底する必要がある。

## 1 4-HPPD阻害型除草剤に感受性を有する品種

タカナリ、モミロマン、ミズホチカラ、ルリアオバ、ハバタキ、おどろきもち、兵庫牛若丸、華麗舞、夢十色、やまだわら、オオナリ、とよめき、みなちから、ふくおこし、ほそおもて、ソルトスター、笑みたわわ

## 2 4-HPPD阻害型除草剤(有効成分名)

ベンゾビシクロン、メソトリオン、テフリルトリオン

## 3 参考文献

- (1) 渡邊寛明・小荒井晃・橘雅明・川名義明・赤坂舞子・加藤浩 2010. 飼料用イネや米粉等の新規需要米向け多収水稻品種の4-HPPD阻害型水稻除草剤に対する感受性. 日作紀 79 (別 1)
- (2) 渡邊寛明・小荒井晃・橘雅明・川名義明・赤坂舞子・加藤浩 2010. 新規需要米向け水稻品種の4-HPPD阻害型除草剤に対する感受性. 平成 21 年度関東東海北陸農業研究成果情報
- (3) 米とワラの多収を目指して 2013, 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所 ISBN978-4-904633-05-2
- (4) 米とワラの多収を目指して 2017 -飼料用米、稲発酵粗飼料用品種-, 農業・食品産業技術総合研究機構 次世代作物開発研究センター
- (5) 様々な用途に向くお米の品種シリーズ 2020, 農業・食品産業技術総合研究機構 次世代作物開発研究センター
- (6) 前田英郎、村田和優(富山県農技セ)、川田元滋、大島正弘、吉田均、廣瀬咲子、川岸万紀子、谷口洋二郎、山田祐司(SDS バイオテック)、関野景介(SDS バイオテック)、山崎明彦(SDS バイオテック)、安東郁男、加藤浩 2009~2016 年度. 4-HPPD 阻害型除草剤感受性を判別する分子マーカー